

令和4年度 第1回庄内町社会教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和4年6月22日（水）午前10時00分～午前11時40分
- 2 開催場所 庄内町役場本庁舎B棟2階 入札室
- 3 出席委員 川村昭三・佐々木正明・齋藤純子・柿崎寿一・足達祐司・上野幸生・鶴巻文臣・富樫豊一・佐藤正人
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 教育長・社会教育課長・社会教育課長補佐・社会教育課主査兼社会教育係長・社会教育課主査兼図書館長

進行：社会教育課長

委嘱状交付 佐藤正人委員

1 開 会 社会教育課長（午前10時00分）

2 教育長あいさつ

日頃より社会教育の推進につきまして、御指導御協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年度から、庄内町の教育が将来に向けて大きく動き出していることがある。3点に絞ってお話しさせていただきます。

1点目は、昨年度から図書館建設がスタートしたこと。令和5年2月に仮オープン、11月から全面供用開始予定である。「みんなが集い、学び、ふれあい、つながる図書館」がコンセプトになっている。より多くの町民の皆様から利用しやすい図書館を目指して、今後協議、検討して参りたい。

2点目は、これも昨年度から、部活動の地域移行の検討会がスタートした。報道もされているとおり、本町では今年度は野球部をモデルケースとして、立川中学校と余目中学校の野球部員と一緒に活動、つまり合同部活動を始めている。来年度から3年間で検討し、理解をいただきながら、全種目での実施を目指していきたいと考えている。

3点目は、指定管理者によるまちづくりセンターが、本町5地区で4月からスタートしている。本町の教育振興計画の施策の柱である「町民が共に学び続け、生きがいをもてる環境づくりの推進」のためには、まちづくりセンターが行う社会教育事業の支援のため、1つは教育委員会の計画訪問をする予定となっている。また、企画情報課との緊密な情報交換と連絡調整が不可欠であると考えている。3点目はもちろん、まちづくりセンターとの情報交換を行うということで、課題と解決策の共有を図っていかなければならないと思っている。

今年度も引き続き、社会教育事業等につきまして、御助言御協力をくださるようお願いを申し上げます、挨拶とさせていただきます。

3 議長あいさつ

教育長から話があったが、まちづくりセンターが各地区で始まった。今日の議題にもあるよ

うに、いろいろと課題などがあるので、みなさんからも意見交換いただいで進めたいと思う。

4 議事録署名委員の指名

足達祐司委員・鶴巻文臣委員

5 協 議

(1) 令和4年度庄内町教育委員会の重点と視座について（～午前10時40分）

【事務局】資料に基づき説明

【委員】放課後子ども教室の推進に関して、まだ未実施のところもあるようだが、ぜひ実施するように勧めたい。というのも、第4学区について、全校生徒の概ね8割以上が参加しており、子供たちも来るのがとても楽しみと言っている。ぜひ推進していただきたい。もう一つ、「新型コロナウイルス感染症対策の実施」ということだが、3年目になり全国的にも緩和してきているが、マスクに関しても状況に応じて大声を出さなければ外してよいなどということもあるが、詳細な対策はあるのか。

【事務局】放課後子ども教室に関しては、未実施地区が第三まちづくりセンター一つとなったということで、ここを重点的に進めていくが、他地区についても充実ぶりを拝見している。支援できるところを精一杯行っていきたい。第4学区については早い時期から実施しており、皆さんの工夫が見られる教室を開催していると聞いている。新型コロナウイルス感染症対策の実施について、これまでどおり検温や手指消毒、マスクの着用も基本的にはお願いしていく。響ホールでも先日から全席着席可能としているように、その時々での感染状況に応じて行っていくことになろうかと思う。ただ図書館に関しては、大声を出すことなく一人で静かに閲覧するというところもあるので、試験的にマスク着用不要の表示をしている。やはり感染状況に応じて、県の方針踏まえながら決定していきたい。

【委員】響ホールLED改修工事について、予定期間はいつ頃か。

【事務局】実施設計が7月末までの委託期間。設計の内容を見て積算し、次に工事の発注。工事契約期間としては年度末になろうかと思うが、実際に現場での工事期間は1月20日過ぎから2月20日過ぎまでの約1ヶ月間。この期間は大ホールの利用を受け付けていない。ただ、現在の世界情勢等により必要な部品や設備が入らないなどで、この期間で完成できるのか不安はあるが、年度内には完成させたい。

【委員】1月第2日曜に町スポーツ協会表彰式があるが、使用できるか。

【事務局】使用できる。

【委員】部活動の推進の中で、地域おこし協力隊の活動により立川小学校金管バンドが活動再開できるということで、良かったと思う。立川小金管バンドは歴史があるし、余目三小マーチングバンドもそうだが、かつてはそうした特殊技能職員が配置され活動を続けて来れたということがあったが、最近は難しくなっていると感じた。先ほどの、中学校の地域移行と併せ、特殊技術を有する指導者を確保する上で、この地域おこし協力隊という制度を活用するというのはとても良いこと。今後地域おこし協力隊を募集する際に、そうした視点も含め、計画的にお願いしていったらどうか。

【事務局】地域おこし協力隊飯田隊員の任期は本来今年5月末だったが、コロナ禍において総務省が特例制度を設け、任期を延期できることとなった。これを受け、飯田隊員本人の希望により今年度末までの任期となった。立川小金管バンドに関しても、地域の方が4名、支援いただける中学校および高校の先生方4名、そして飯田隊員の計9名の支援により再開となった。こうした考え方での協力隊募集について、参考にしていきたい。

- 【委員】立川中と余目中野球部が合同で練習していることに関し、現在部員数何人か。
- 【委員】立川中は3年生が2名、1年生が1名の計3人。今月の地区総体を終え、3年生2名が引退となるので、実質1年生1名となる。
- 【事務局】余目中は十数名と聞いている。
- 【委員】随分少なくなった。昔は野球部といえど何十人と部員がいて、花形だったが。合同チームになり、練習場所についての考え方は。
- 【教育長】現在の放課後の部活動に関しては、ハッピーバスやスクールバスで、5時間授業の日と6時間授業の日でそれぞれ違うが、それに乗り余目中の近くで降り、合同の部活動をしている状況。
- 【委員】立川小金管バンドの件に付随し、小学校のスポ少や中学校部活動の運動部指導者には年間いくらかの謝礼が出ていると思う。金管バンドなどの文化部に関しても、時間拘束という面では同じなので、手立てはしているのだと思うが、ぜひ手厚くしていただきたいし、そうした地域の人材も大切にしていきたいと思う。
- 【事務局】今年度に関しては予算化されているものでないため難しいが、考え方としては同様に考えているので、来年度以降の予算計上に加味していきたいと考えている。
- 【議長】余目祭りの相撲大会で、従来であれば、県外の高校や一般が来て開催してきたが、今は相撲を取るの小学校の4、5、6年。ここ2、3年は中止。私自身ずっと事務局としてやっているため、これから内容的な打ち合わせを行っていく。土俵もあるので。元に戻り、余目祭り当日について具体的に相談しながら、小学校4、5、6年として進めていく考え。各小学校に土俵もあるし、本来の伝統的な相撲大会ということで、八幡神社の相撲場でこれからも進めていく。ご承知おきを。
- 【事務局】相撲連盟が関わって実施してくださっている。スポーツ協会事務局のコメントわくわくクラブと連携を図りながら、ご意見等お伝えしていきたい。

(2) 令和4年度庄内町社会教育事業計画及び事業概要について（～午前11時00分）

- 【事務局】資料に基づき説明
～質問、意見なし～

(3) 社会教育委員会議活動予定について（～午前11時05分）

- 【事務局】資料に基づき説明
～質問、意見なし～

6 報 告

(1) 令和4年度社会教育施設関係工事の状況について（～午前11時15分）

- ・庄内町立図書館整備事業
- ・文化創造館大ホール舞台照明設備改修工事

- 【事務局】資料に基づき説明

【委員】新図書館の開館日と休館時間について、中学生へ配慮いただきありがたい。立川の分館も同じようになるか。

【事務局】説明が不足した。当初、月曜日開館でシフトを組んでみようとしたが、職員負担が増大することが判明し、現状と同じ月曜日休館でいきたいと考えている。期待に添えず大変申し訳ない。分館も、システムの関係上、本館の休館日と同じにせざるを得ない。ただ、分館スタッフは月曜日通常通り勤務しているため、試行という形で開館はしている。そこで特段トラブルがない場合は、分館を通年月曜日開館するということもあり得ると

思う。支障など想定しながら、一番いい方法について今後ご意見を賜りながら検討していきたい。

【委員】5月に特別支援学級の生徒を連れて、調べたいことがあるというので分館に連れて行ったら無かった。そうしたら、本館と連携とりながら「こんな本があるよ」と教えて下さった。本館と分館の連携がとれている状況であり、これからも継続してもらえたらと思うし、これを機会に分館の充実もしていただければと思う。

【委員】図書館について、当面は町の直営ということでよいか。

【事務局】基本計画の中にも掲載したが、新しい図書館がスタートし軌道に乗るまでは、当面の間は直営で進めていきたい。

(2) 公民館のコミュニティセンター化（まちづくりセンター）の状況について

(～午前11時25分)

【事務局】資料に基づき説明
～質問、意見なし～

(3) 休日における部活動の段階的な地域移行の状況について（～午前11時40分）

【事務局】資料に基づき説明

【議長】部活動に参加していない子はどのくらいいるか。

【委員】立川中は、10人に満たない人数。ほかに外部の野球チームやサッカークラブに参加している生徒も含めれば20名くらい。この仕組みを作っていたおかげで、部活動が成り立たない部は廃部や休部という措置をとらなければならなかったものを、クラブ化ということで保護者中心の活動に移行しながら、町で面倒をみていただきながら余目中学校と立川中学校の生徒が一緒になって活動できる環境づくりに努めてもらったので、やりたいスポーツが小学校から継続して取り組めるという点で有意義な仕組みかと考えている。

【委員】雑談だが、例えば余目四小の子は自動的に余目中に進むものと考えていたが、聞いた話だと、柔道は立川中学校が強いから、余目四小から立川中へ進んだらしい。そういう、中学校を自分で選ぶという仕組みは全国的に行われていることなのか。

【事務局】正確にはできない。住所がある中学校に進学。住所を親戚等、立川の住所に変えている。希望する活動のために住民票を異動している事例は全国的にもいくらかはあると聞いている。

【委員】現段階で野球部が合同チームでやっているが、立川中も余目中も人数的に単独ではできない人数になっているのか。

【事務局】住民票を移動させるという話と、子供の数が減っていることや先生方の労働環境を改善していくということでの部活動地域移行は、全く別の話。もう取り組まなければならないこと。地域で考えて、子供たちがやりたいスポーツができるような環境をつくっていくということ。そういう意味でも、社会教育が重要な役割を担っていく必要があると思っている。皆さんから助けていただかないといけない状況になってきている。

【副議長】スポーツの環境で話題が出ているが、文化部もあるのか。

【委員】立川中学校は文化部を作ることができず、運動部だけ。余目中学校にはある。

【副議長】働き方改革という面があるのだから、文化部も先生方がついていけば、それなりに負担があるあるのでは。この点は今後第2段階として話が出てくるのか、それとも平行して取り組んでいくのか。

【事務局】学校の先生も地域の一人となり、部活動指導に加わることができるということもあるようだが、これは文化部も運動部も同じく検討していくことになっている。先ほどの立川

小金管バンドの話にもあるが、余目吹奏楽愛好会の方々の協力を得ながら、そういった方向性を見出していかねばならないと思っている。

【教育長】このことに関し、先月余目中学校で文化部も含めた部活動連絡協議会ということで、教員、保護者代表、そして指導者が集まったすべての部の連絡協議会があった。そこで校長からも、教育委員会からも地域移行の話をさせていただき、文化部、例えば余目中学校の吹奏楽部は何が課題なのかということをお話いただきました。まずは地域指導者を探さなくてはならないこと。二つ目は、楽器の移動。ただでさえ移動の際はトラックを使用するというような状況。体育館であれば鍵を借りてすぐ入れるが、音楽室は校舎3階にあるため、校舎の中を通らなければならない構造になっている。または練習場所。そうしたことが課題となっている。そうした課題をクリアしながら、担当の先生の負担軽減しながら進めていかねばならない現状。

【議長】地域の協力がないと、ただやれやれと言っても前に行かない。課題の多い今日の会議だが、積極的にそうした活動をできるように、社会教育委員も連携をとりながら、よろしく願いたい。

7 その他

【事務局】毎回、公民館報や社教情報などを配付していたが、4月からまちづくりセンターになり、広報印刷の際にページ数単価で契約し業者へ発注しているまちづくりセンターもあるなど、いかに経費を安くし、費用をどこに使うことができるか、日々模索している状況。ホームページやスマートフォンでも見られるようになっているまちづくりセンターもあり、それぞれ工夫して掲載している。今後は、まちづくりセンターの指定管理者の負担を軽減する意味でも、今までのような配付はしないこととしたい。ご了承願いたい。

8 閉 会 社会教育課長（午前11時45分）